

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公表番号】特表2009-524062(P2009-524062A)

【公表日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2008-551434(P2008-551434)

【国際特許分類】

**G 01 S 13/74 (2006.01)**

【F I】

**G 01 S 13/74**

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月19日(2011.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

別の欠点として、超音波センサでは、超音波を反射してセンサに返すのに適した標的がセンサと標的間の距離を測定するために必要である。かかる標的が存在しない場合、超音波が正常に反射されず、よって距離を正確に測定できなくなる。このように、超音波センサの正常な作動のためには標的領域が存在しなければならない。しかしながら、大きな問題となり得ることに、製品の設計制約により標的領域を含む可能性が制限される。これもまた超音波センサを搭載した従来製品が抱える問題なことであるが、既存製品は適当な標的領域を有さない。

【特許文献1】国際公開第2006/073717A号パンフレット

【特許文献2】独国特許第19701530号明細書